

プレクラス開設に向けた先行実施事業を開始します ～外国にルーツを持つ児童生徒への日本語指導の充実～

千葉市では、外国にルーツを持つ児童生徒の増加に伴い、日本語によるコミュニケーションや読み書きが十分にできない児童生徒への支援が課題となっています。また、在籍校では担任が日本語指導等に多くの時間を費やしており、学級全体の児童生徒への指導により注力できる環境づくりが求められています。

このたび、来日直後等の児童生徒が安心して学校生活をスタートできるよう、集中的に初期日本語指導を行う「プレクラス」を令和9年度に開設する予定です。開設に向けた制度設計や運営体制を検証するため、先行実施事業を開始しますので、お知らせします。

1 事業概要

(1) 目的

来日直後等の外国にルーツを持つ児童生徒の基礎的な日本語能力の定着と学校生活への早期適応を支援するため、令和9年9月に予定しているプレクラス開設に向けて、制度設計および運営体制の整備・検証を行うことを目的に、令和8年度に先行実施事業を実施します。

(2) 対象者

小学生および中学生（小学生は保護者の送迎が必要）

(3) 開設場所

高洲第三小学校（美浜区高洲3-3-11）

(4) 開設期間

4週間のクラスを令和8年度内に2回実施します。開設期間中は、火曜日から木曜日までの週3日、開設場所において1日4時間程度の指導を行います。

・第1回 令和8年10月20日（火）～11月12日（木）

・第2回 令和9年 1月19日（火）～ 2月10日（水）

(5) 指導体制

学年（年齢）等を考慮して編成したグループごとに、集中的な初期日本語指導を行います。

ア 指導者

プレクラス指導員1人（教員免許取得者）、日本語学習支援員2～3人

イ 児童生徒

児童生徒は12人程度を上限とし、学年（年齢）を考慮した3～4人程度のグループを編成し、少人数によるきめ細かな指導を行います。

2 プレクラスの特徴

日本語の基礎（あいさつ、受け答えをはじめとする日常会話等）、学校生活のルールや1日の流れ、ひらがなやカタカナの読み書きなど、日本で生活するために必要な日本語と生活習慣の基礎を身に付けます。

3 プレクラス開設による効果

- ・来日直後等の児童生徒が基礎的な日本語や学校生活のルールを集中的に学ぶことで、学校への早期適応を図ることができます。
- ・教員が特定の児童生徒に対する日本語初期指導に多くの時間を割く負担が軽減されることで、本来の授業や学級経営により注力できるほか、より多くの児童生徒と向き合う時間の確保につながります。

4 今後の予定

10月20日 先行実施事業開始

11月下旬 各学校へ第2回プレクラス先行実施の案内

※事前説明会（児童生徒・保護者）、日本語能力および入級意志の確認